



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東
 コード番号 8159 URL <https://www.tachibana.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山尚伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	114,811	4.3	5,775	20.3	6,558	13.0	4,509	9.1
2023年3月期第2四半期	110,038	20.8	4,801	76.2	5,802	88.3	4,132	90.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 6,456百万円(48.4%) 2023年3月期第2四半期 4,351百万円(75.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	183.35	—
2023年3月期第2四半期	165.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	171,815	87,849	51.1
2023年3月期	153,635	84,641	55.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 87,849百万円 2023年3月期 84,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2024年3月期	—	50.00			
2024年3月期(予想)			—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	226,000	△0.6	10,400	0.8	11,000	△0.0	7,500	△4.3	304.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	25,025,242株	2023年3月期	25,025,242株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	732,498株	2023年3月期	46,921株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	24,593,529株	2023年3月期2Q	24,978,333株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、2023年12月6日（水）に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済社会活動の回復を反映して、個人消費や設備投資の持ち直しが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下にあつて、当社企業グループは、来るべき未来社会に選ばれる技術商社として、ロボットやM2M技術を活用した工場の自動化、省人化ニーズを捉えたソリューション提案や3Dプリンターによる新しいものづくり技術の普及に取り組んでいます。日々の活動の中では一部の製品において、いまだ供給が滞る製品もありますが、仕入先からの協力・支援を得て在庫確保に注力するとともに、半導体製造装置関連や物流関連の設備投資案件などの好調な分野で業績を確保することに努めました。また、当該期間において当社企業グループの高い技術力を発信する場として世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2023」や「関西物流展」、「Edge Tech+WEST 2023」に出展して、お客様の現場の課題解決に注力いたしました。一方、経営面においても利益生産性の向上を図るべくデジタル化を推し進めて業務の合理化・効率化にも取り組んでおります。

以上の背景から、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,148億11百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益57億75百万円（前年同期比20.3%増）、経常利益65億58百万円（前年同期比13.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益45億9百万円（前年同期比9.1%増）で、売上高、各利益ともに第2四半期として過去最高の結果となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

〔FAシステム事業〕

売上高：588億99百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益：32億76百万円（前年同期比23.6%増）

FA機器分野では、半導体製造装置関連や物流関連の設備投資案件が好調に推移しました。一部の機種を除いて製品供給が正常化に向かったこともあり、高水準の受注残にも支えられ、プログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボが大きく増加しました。また、低圧配電制御機器が増加し、システム案件についても好調に推移しました。産業機械分野では補助金効果によりレーザー加工機、自動化設備が大幅な増加となりました。鉄鋼プラント向けの大型設備投資案件の獲得も売上に貢献いたしました。一方、産業デバイスコンポーネント分野では、タッチパネルモニター、コネクタが減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比9.3%の増加となり、第2四半期として過去最高となりました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高：442億7百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益：24億62百万円（前年同期比14.9%増）

半導体デバイス事業では、一部製品を除き需給バランスの改善が見られ、マイコン、メモリー、ロジックIC、アナログIC、パワー半導体をはじめとする半導体素子は海外日系企業向けを含め前期並みの売り上げを確保しました。一方、電子デバイス分野では、液晶、コネクタなどが微減となりました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比0.8%の減少となりました。

〔施設事業〕

売上高：91億41百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益：93百万円（前年同期比204.0%増）

施設事業では、給湯器関連、特に電気温水器は前期の大幅伸長の反動から減少したものの、物流倉庫関連を始めとしたリニューアル需要を受けて、LED照明、昇降機の更新が増加。新規では集合住宅向けの昇降機、大型再開発案件向けに受配電設備が大幅に増加しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比4.2%の増加となり、第2四半期として過去最高となりました。

〔その他〕

売上高：25億63百万円（前年同期比8.8%減）、営業損失：56百万円（前年同期は24百万円の損失）

MMS分野では、主力の立体駐車場向け部材は増加したものの、物流向けスチールラックは物流倉庫案件の計画変更等の影響を受けて減少するとともに、金属部材の価格高騰と円安の影響を受けて、利益確保は厳しい状況でありました。EMS分野では、家電向け液晶基板ビジネスが好調に推移しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比8.8%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて181億80百万円増加の1,718億15百万円となりました。この主な要因は、棚卸資産の増加94億90百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加32億57百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて149億72百万円増加の839億66百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加95億33百万円、短期借入金の増加55億25百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて32億8百万円増加の878億49百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加32億60百万円、自己株式の取得による減少19億99百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、116億33百万円となり前連結会計年度末に比べ10億62百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億63百万円の支出（前年同期は38億55百万円の収入）となりました。主な内容は税金等調整前四半期純利益65億62百万円、仕入債務の増加額89億68百万円などの増加と棚卸資産の増加額91億1百万円などの減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億70百万円の支出（前年同期は42百万円の収入）となりました。主な内容は有形固定資産の取得による支出7億63百万円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、21億80百万円の収入（前年同期は17億5百万円の支出）となりました。主な内容は短期借入金の増加による収入54億40百万円、自己株式の取得による支出19億99百万円などあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年11月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,596	12,638
受取手形、売掛金及び契約資産	74,428	77,685
棚卸資産	34,010	43,500
その他	4,553	6,170
貸倒引当金	△65	△67
流動資産合計	124,523	139,926
固定資産		
有形固定資産	5,474	6,002
無形固定資産	649	764
投資その他の資産		
投資有価証券	20,675	22,706
退職給付に係る資産	1,205	1,205
その他	1,186	1,287
貸倒引当金	△80	△76
投資その他の資産合計	22,987	25,122
固定資産合計	29,112	31,888
資産合計	153,635	171,815
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,833	59,366
短期借入金	6,792	12,318
未払法人税等	2,288	2,108
賞与引当金	1,695	1,880
その他	5,219	4,554
流動負債合計	65,829	80,228
固定負債		
長期借入金	89	28
退職給付に係る負債	616	623
その他	2,459	3,085
固定負債合計	3,165	3,738
負債合計	68,994	83,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,146	6,146
利益剰余金	65,057	68,318
自己株式	△58	△2,058
株主資本合計	77,020	78,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,716	7,061
繰延ヘッジ損益	△1	2
為替換算調整勘定	1,469	2,121
退職給付に係る調整累計額	435	383
その他の包括利益累計額合計	7,620	9,568
純資産合計	84,641	87,849
負債純資産合計	153,635	171,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	110,038	114,811
売上原価	95,191	98,596
売上総利益	14,846	16,214
販売費及び一般管理費	10,045	10,438
営業利益	4,801	5,775
営業外収益		
受取利息	37	37
受取配当金	206	232
為替差益	669	507
その他	121	96
営業外収益合計	1,034	872
営業外費用		
支払利息	19	36
自己株式取得費用	—	38
その他	13	15
営業外費用合計	32	90
経常利益	5,802	6,558
特別利益		
投資有価証券売却益	170	3
特別利益合計	170	3
税金等調整前四半期純利益	5,973	6,562
法人税等	1,841	2,052
四半期純利益	4,132	4,509
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,132	4,509

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,132	4,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△855	1,344
繰延ヘッジ損益	△37	4
為替換算調整勘定	1,162	651
退職給付に係る調整額	△50	△51
その他の包括利益合計	218	1,947
四半期包括利益	4,351	6,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,351	6,456
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,973	6,562
減価償却費	220	219
賞与引当金の増減額 (△は減少)	464	184
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△1
受取利息及び受取配当金	△243	△269
支払利息	19	36
為替差損益 (△は益)	△102	△151
投資有価証券売却損益 (△は益)	△170	△3
未収入金の増減額 (△は増加)	△2,017	△1,082
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,200	△2,798
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△821	△9,101
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,701	8,968
その他	631	△996
小計	5,461	1,565
利息及び配当金の受取額	251	282
利息の支払額	△19	△35
法人税等の支払額	△1,837	△2,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,855	△463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	133	36
有形固定資産の取得による支出	△143	△763
投資有価証券の取得による支出	△220	△222
投資有価証券の売却による収入	230	13
有価証券の償還による収入	100	-
投資有価証券の償還による収入	100	100
その他	△158	△235
投資活動によるキャッシュ・フロー	42	△1,070
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△954	5,440
長期借入金の返済による支出	-	△6
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△1,999
配当金の支払額	△746	△1,244
その他	△4	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,705	2,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	847	415
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,040	1,062
現金及び現金同等物の期首残高	9,958	10,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,998	11,633

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式685,300株の取得を行っております。当該自己株式の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が19億99百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が20億58百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	51,664	28,238	8,776	88,679	2,440	91,119	—	91,119
アジア他	2,233	16,315	—	18,548	369	18,918	—	18,918
顧客との契約から 生じる収益	53,897	44,554	8,776	107,228	2,810	110,038	—	110,038
外部顧客への売上高	53,897	44,554	8,776	107,228	2,810	110,038	—	110,038
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	53,897	44,554	8,776	107,228	2,810	110,038	—	110,038
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	2,651	2,143	30	4,825	△24	4,801	—	4,801

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	56,585	29,053	9,141	94,780	2,487	97,267	—	97,267
アジア他	2,313	15,154	—	17,467	75	17,543	—	17,543
顧客との契約から 生じる収益	58,899	44,207	9,141	112,248	2,563	114,811	—	114,811
外部顧客への売上高	58,899	44,207	9,141	112,248	2,563	114,811	—	114,811
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	58,899	44,207	9,141	112,248	2,563	114,811	—	114,811
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	3,276	2,462	93	5,832	△56	5,775	—	5,775

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。